

開発計画等

バングラデシュ長期計画 2010-2021 (Vision 2021)

【全般】

本国家計画はバングラデシュの最上位の国家計画であり、Vision 2021 とも呼ばれています。2021 年はバングラデシュ独立の 50 周年記念の年でもあり、本計画は 2021 年までにバングラデシュがどうなっているべきかターゲットや開発シナリオを提示しており、達成された場合は、バングラデシュは中所得国の第 1 ステージに進むことになります。開発優先事項として以下 9 項目が掲げられています:

- ① 広域的な成長と食糧の安全保障の確保,
- ② グローバル化と域内協力への取り組み,
- ③ 開発と福祉のためのエネルギー安全保障の提供,
- ④ 知識ベース社会の確立,
- ⑤ 堅固なインフラの整備,
- ⑥ 効果的なガバナンスの確保,
- ⑦ 気候変動の影響の低減,
- ⑧ 福祉社会の形成,
- ⑨ デジタルバングラデシュのもとでのイノベーションの促進,

③のエネルギー安全保障に関して、燃料ミックスを多様化しつつエネルギーセクターを総合的に開発することやエネルギーセクターにおいて民間の導入を進めていくことに加え、太陽光やバイオガスなどの再生可能エネルギーを促進すること、電力やその他エネルギーへのアクセスを全ての人に確保することなど述べられています。

⑦の気候変動対策に関して、持続的な開発にとって重要であるとし、主に洪水や熱帯サイクロンなど自然災害対策の観点から気候変動対策の必要性が述べられています。また、気候変動緩和策を促進するとともに、科学的評価、予測や情報共有など域内及び国内のメカニズムを強化する支援策などを導入するとしています。

本国家計画が 2021 年までに達成する目標 14 項目も提示されています: 年間 GDP 成長率を 10%に維持し 2021 年までに中所得国になる; 食料の最小限摂取量(2,122k.cal/person/day); 電源開発関連; 気候変動から生じる課題を効果的に解決すること及び環境劣化を防ぐことにより環境保全を確かなものにするなど

【環境関連】

水資源管理

食糧安全保障、農業と地方開発戦略の中で、水資源管理について述べられています。その中では、農業、工業や林業など様々な分野で使用されている水資源の開発及び配分を最適化することを狙った総合水資源管理を推進していくことが掲げられています。また、水分野において適切な気候変動緩和策策定のための研究・開発を推進するとしています。

エネルギー安全保障

戦略としては、発電のための一次燃料の使用の多様化(ガス、石炭、液体燃料など)、太陽光、風力や小水力など再生可能資源による発電を増加させることなど述べられています。また、国の電源開発の目標としては、2021年までに総発電量を20,000MWとすることが掲げられています。省エネルギーに関しては、エネルギーセクターの重要課題の一つとしていますが、1996年に策定されたNational Energy Policy of Bangladeshで述べられているような省エネプログラムを実施する本格的な取り組みが近年までなされていなかったとし、本計画では、計画的な省エネ政策を策定し、効果的に実施するとしています。

都市化の課題

今後採択される都市開発プログラムがベースとする政策・戦略が述べられており、その中では、都市環境管理としてよりクリーンな環境、汚染規制を促進し、環境危険から公衆衛生を保護するとしています。また、基礎インフラとして、安全な水の供給、衛生、廃棄物管理、社会福祉などを挙げており、適切かつ妥当な価格で基礎インフラ及びサービスを提供し、衛生、安全、福祉及び都市住民の住環境の確保を支援するとしています。なお、バングラデシュにおける都市化の特徴の一つとして、いくつかの大都市(ダッカ、チッタゴン、クルナ大都市圏)があり、都市人口の不均衡な分布となっていることが指摘されています。

環境的に持続可能な開発

- バングラデシュは3つの巨大な川の河口にあり、長い沿岸地帯をもちかつ低地であり、バングラデシュを通してベンガル湾に流出する流れの92%が上流国から来るものであり、水資源を管理できないこと、及び極端に人口密度が高いことから、気候変動影響を受けやすいと述べられています。
- バングラデシュは、「Bangladesh Climate Change Strategy and Action Plan (BCCDAP)」「National Adaptation Programme of Action (NAPA)」「National Plan for Disaster Management (NPDM)」「National Environment Policy (NEP) in 1992」「National Forest Policy (NFP) in 1995」「National Sustainable Development Policy (NSDP)」など環境関連の政策・戦略を策定しています。

- バングラデシュは最貧国であるため温室効果ガス排出削減を求められていませんが、低炭素の道筋をたどるとしており、その成功は国際社会からの支援によるとしています。

参照: [Perspective Plan of Bangladesh 2010 – 2021 \(バングラデシュ計画省\)](#)

国家持続的な開発戦略(2013年5月)

【全般】

本戦略文書は国の経済を経済的、社会的及び環境的に持続可能にするために各種課題への取り組み指針・戦略を提示しています。また、地球規模での持続的な開発課題へ対応するという国際的な義務を満たすためのバングラデシュ政府の取り組みを表しています。

開発する優先セクターとして、農業・地方開発、産業、エネルギー、運輸交通及び人材開発の5分野を、また分野横断的課題として、ガバナンス、ジェンダー、災害リスク削減及び気候変動の4つの項目を挙げており、それらについて現状・課題及び戦略について記述されています。これらに加えて、都市環境についての課題・戦略も述べられています。

本戦略文書は既存の計画・政策・戦略文書(Vision2021など)に基づいて作成されています。

持続的な開発に係る課題として、人口、貧困と不平等、無計画な都市化、エネルギーの安全保障、非効率な水資源管理、自然災害及び気候変動が上げられています。

- 人口に関しては、2012年時点で1億4980万人が147,570平方キロメートルの国土で生活しており、人口密度は1,015人/平方キロメートルといくつかの島国を除くと世界で最も人口密度が高くなっており、このことが多くの課題をもたらすとしています。
- 無計画な都市化に関しては、都市部、特にダッカのような大都市において、固形廃棄物管理、スラム地域の拡大、不適切な下水施設や処理されない産業廃棄物などに関する深刻な汚染問題があるとしています。これらに対応するため、全ての町・都市における既存の廃棄物処理システム、スラムの生活環境及び排水混雑などの改善に取り組まなければならないと述べています。企業が産業廃棄物を適切に処理するようなインセンティブを与える規制枠組みが必要とし、また廃棄物処理に関して、政府は固形廃棄物用の衛生的な埋め立て地を用意し、廃棄物発電のために用意する必要があるとしています。他に住居不足も挙げられています。
- 気候変動に関して、バングラデシュは気候変動に対して最も脆弱な国の一つとして世界的に広く知られており、Bangladesh Climate Change Strategy and Action Plan (BCCSAP)の

文書を引用してバングラデシュにおける数々の気候変動問題を紹介しています。それに対して、バングラデシュ政府は Bangladesh Climate Change Trust Fund を 2009 年に設立し毎年 USD100million 配分するとともに、Bangladesh Climate Change Resilience Fund を 2010 年に設立し、開発パートナーから予算を得て運営しています。

【環境関連】

上述の優先セクター開発に係る戦略(環境関連)は以下の通りとなります:

産業セクター

- 廃棄物削減のためによりクリーンな技術を活用し及びよりクリーンな生産プロセスとするよう企業に働きかける。
- 各産業における廃水処理プラント(ETP や CETP)の適切な運営のため、ルールや規則を効果的に施行されるよう必要な対策をとる。
- 2021 年までにゼロ排出を達成するために、全ての産業は、低炭素フットプリント、ETP や 3R システムとともにエネルギー及び資源使用をより効率的にし、グリーンラベルを保持しなければならない、など。

エネルギーセクター

- 電力セクターの目的は、2021 年までに電力需要が 20,000MW に達するという想定を念頭に、2021 年までに 24,000MW まで発電容量を引き上げること。
- PPP、民間投資、海外直接投資、共同事業や近隣諸国(インドやブータンなど)からの輸入など様々な資金メカニズムを活用して発電量を増やし電力供給を高める。
- 電力需要管理を促進する。
- 適切なインセンティブを付与することにより、太陽光、風力、小水力、潮流やバイオマスなどの再生可能資源による発電を促進する。
- 発電において、環境への付加が少ない技術の使用を促進する。
- 非効率な白熱ランプ、冷蔵庫、エアコン、ポンプ、モーターやその他の電気機器を効率的なものに、また、街灯をエネルギー効率のよい LED や太陽光によるライトに取り替えてエネルギー効率を向上させる。
- 資本コストへ補助金を出すことにより、太陽光エネルギーの使用を地方部のオフグリッド電化や灌漑に拡大使用する、など。

運輸交通セクター

- 増加する人口に対して、妥当な価格で環境的に持続可能な可動性(交通手段)を提供する。優先度の高いものは、鉄道、既存の道路ネットワークの維持・改良と内陸の水上交通を復活させること、など。

- 上述優先セクターに加えて、都市環境に関する戦略は以下の通り: グリーンビルディングコンセプトを導入する。
- ダッカ、チッタゴンなどの大都市に下水処理プラントを建設し、徐々に他の県(District)へ広げていく。
- 小・中規模の町のために、オフサイトの公衆衛生にかかる選択肢を提供する。
- 汚泥処理タンクやおとし便所からの適切な汚泥の除去と適切な廃水処理を行う。
- 廃水処理装置の改造や工場からの廃水削減のための財政インセンティブや奨励金を提供する。
- 固形廃棄物管理におけるコミュニティイニシアティブを促進する。
- 固形廃棄物のよりよい管理のため発生源分別を促進する。
- 政府が採択した 3R 政策に基づいて様々なプログラムやプロジェクトを開始する、など。

気候変動関連に関する戦略

- 持続的な開発の中核コンポーネントとして、災害リスク削減と気候変動適応をリスク削減の文脈において統合する。
- Climate Change Trust Fund 及び Climate Change Resilience Fund に係るプロジェクト選定、資金の支払い及びモニタリングメカニズムを強化する、など。

参照: [National Sustainable Development Strategy 2010-2021](#) (バングラデシュ計画省)

第6次五カ年計画

本計画は上述の Vision 2021 を実現させるための中期国家計画となります。本計画では、経済成長、雇用、人間開発、貧困削減、社会的保護及び環境管理(気候変動を含む)に係る主要目標を達成する基礎的戦略・政策・制度に焦点を当てています。

参照: [Sixth Five Year Plan FY2011-FY2015](#) (バングラデシュ計画省)